

終戦75周年記念

兵士として戦場に行った
神戸大学の学生たちの諸相

戦場に行 た 学生 たち

予約制で2月中旬まで会期延長



神戸経済大学予科生が描いた学徒出陣の絵はがき(部分)
1944(昭和19)年10月頃

※事前予約制です(下記主催までご連絡ください)。

※会場内でのマスク着用、手指消毒をお願いいたします。

2021年

期間／ 1月4日(月) - 2月12日(金) *平日のみ開館

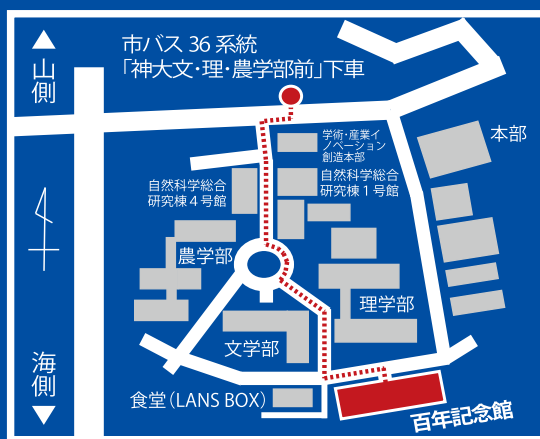
時間／ 9:30-17:00 **入場無料**

場所／ 神戸大学百年記念館 1階
展示ホール

[交通案内] 阪神「御影」駅・JR「六甲道」駅・阪急「六甲」駅から市バス36系統「鶴甲団地」又は「鶴甲2丁目止り」行きに乗車、バス停「神大文・理・農学部前」下車、南へ徒歩約5分

主催／ 神戸大学 大学文書史料室

お問い合わせ先・事前予約先／電話 078-803-5035
E-mail: archives@lib.kobe-u.ac.jp



戦場に行った学生たち

—— 終戦75周年記念 ——

今年には終戦75周年にちなみ、学徒出陣によりペンを銃に持ち替え兵士として戦場に行った神戸大学の学生たちの諸相について、貴重な歴史資料や写真などで振り返ります。

皆様のご来場をお待ちしております。

日の丸の寄せ書き ▶

1945(昭和20)年4月。出征する神戸経済大学予科生に教官や学友が贈ったもの。「生キテ還レ」、「娑婆に未練を持って」、「要領で生きて帰って来い」など、見つければ国民と断罪される危険をおかしながらも、学友たちは真剣な熱い思いを記した。



▲ 神戸街頭を行進する出陣の予科生

1943(昭和18)年11月。出征する神戸商業大学予科生が湊川神社に集団参拝するため隊伍を組んで行進。



▲ 神戸商業大学出陣学徒総代の「答辞」

1944(昭和19)年9月。出陣学徒壮行式での答辞。「大学を頼む」と言い残して戦場に赴いた。



▲ 凌霜会主催「出陣学徒壮行会」

1943(昭和18)年11月。凌霜会(同窓会)主催の神戸商業大学「出陣学徒壮行会」(於・神戸商工会議所)。



▲ 校章入りの千人針

1944(昭和19)年9月。神戸商業大学予科生が戦地に持参した校章入りの千人針。飢餓と疫病に冒されながらも、肌身離さず、心の支えとした。



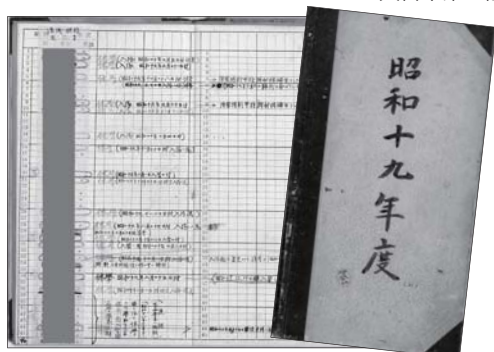
▲ 学徒出陣を描いた絵はがき

1944(昭和19)年10月頃。出征する神戸経済大学予科生を駅で見送る学友たち。汽車は「久留米行」であり、特別甲種幹部候補生(特甲幹)として福岡県の久留米第一陸軍予備士官学校へ入校するのだろう。



▲ (左) 出征前に学友たちとの記念写真、(右) ゲートル

1945(昭和20)年5月頃。出征する神戸工業専門学校(精密機械科)の生徒が学友たちと記念撮影。(右)は戦場で使ったゲートル。



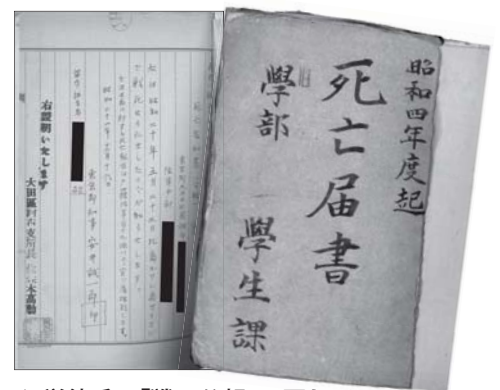
▲ 姫路高等学校の学生表帳「昭和十九年度」

1944(昭和19)年度。姫路高等学校文科2年2組の学生表帳には、全46名中24名が入隊のため休学とある。



▲ 学徒兵が母に贈ったパナマ草履

1944(昭和19)年末頃。出征した神戸経済大学の学生が激戦地に赴く直前に人を介して祖国の母親に贈ったもの。これが最後の親孝行となった。



▲ 学徒兵の「戦死公報」の写し

1947(昭和22)年12月発行。神戸経済大学の学生が1945(昭和20)年5月にフィリピンのルソン島で戦死した旨の公報の写し。父親が大学に届け出たもの。